



●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい、漏水するおそれがあります。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・背板の取付け時は、背板の四周(天板・外枠・化粧まぐさ)およびコーナー部に防水テープを張って、さらに圧着してください。

■組立て上のお願

●必ず指定の組立てねじを使用してください。

●枠の取付けは、「枠取付け説明書」をご覧ください。

●同梱の取付け説明書および取付け部品セットは、必ず施工される方へお渡しください。

●背板取付け部のホコリ、油などを除去してから取付けてください。

■ねじ一覧表

イ	ロ	ハ	ニ
バインドタッピン ねじφ4×30	背板	皿小ねじ M4×5	防水テープ

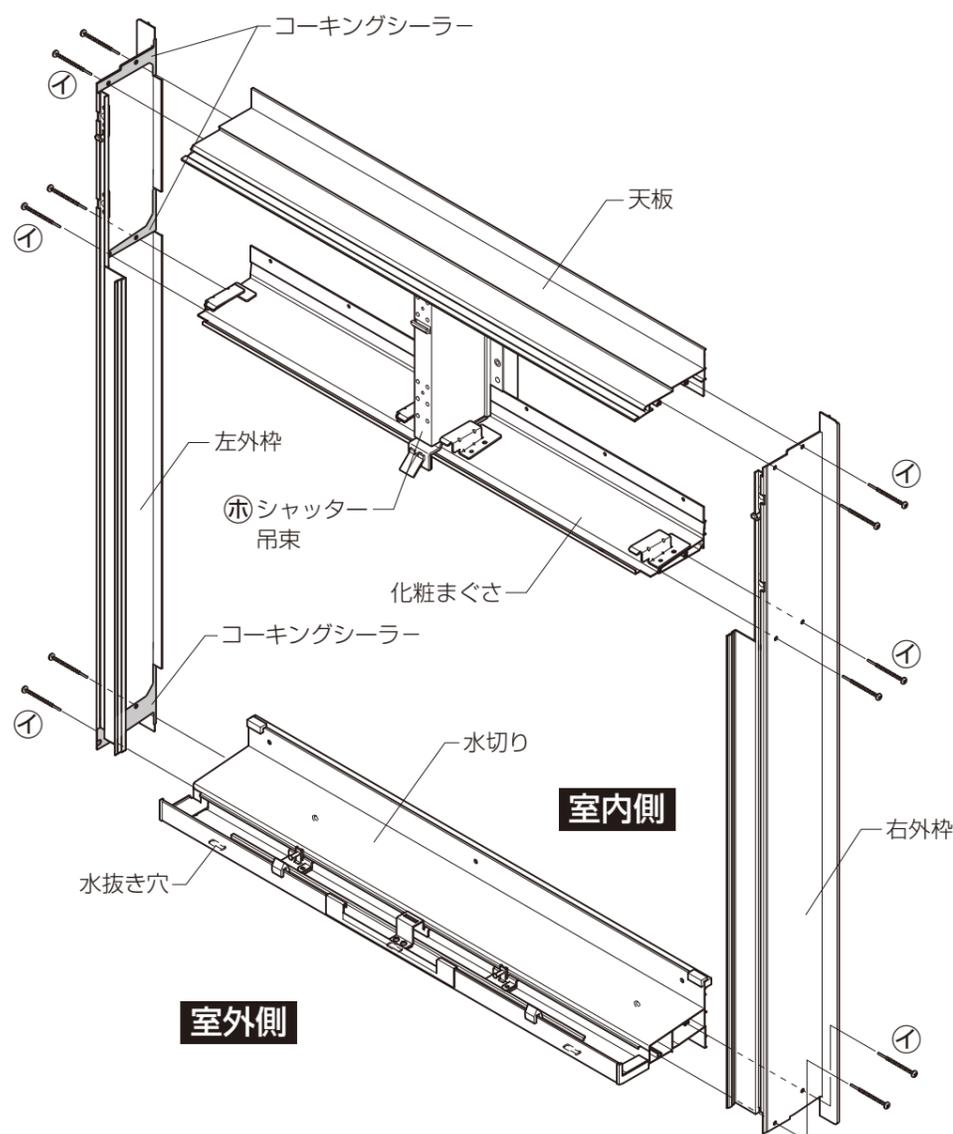
●シャッター連窓の場合

ホ	ヘ	ト	チ	リ
シャッター吊束 固定金具 シャッター吊束	バインドタッピン ねじφ4×10	皿小ねじ M4×10	バインドタッピン ねじφ4×40	吊束固定裏板

■構成図

●室内側・室外側の向きを合せて各部材をねじ止めします。

●組立て説明書内のイラストは連窓の場合を示し、シャッター吊束を記載しています。組立て順序3以降の手順は、単窓・連窓共に同じになります。



▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

▲注意

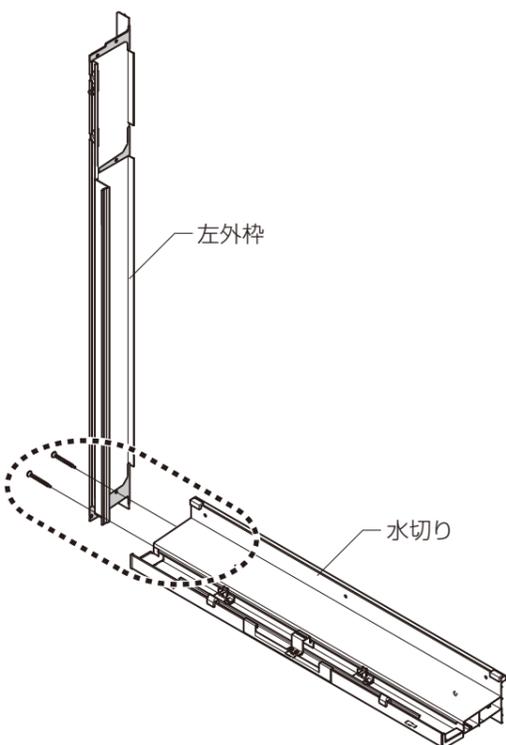
●外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

■組立て順序

1 天板とシャッター吊束の組立て
(シャッター連窓の場合)

2 化粧まぐさとシャッター吊束の組立て
(シャッター連窓の場合)

3 左外枠と水切りの組立て

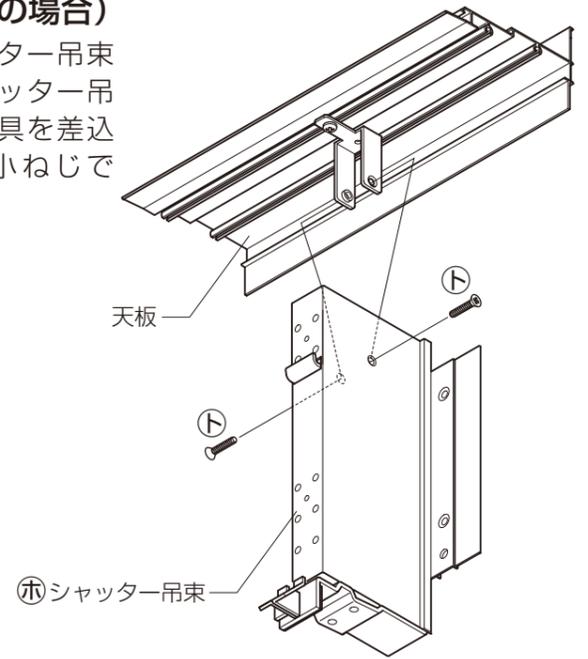
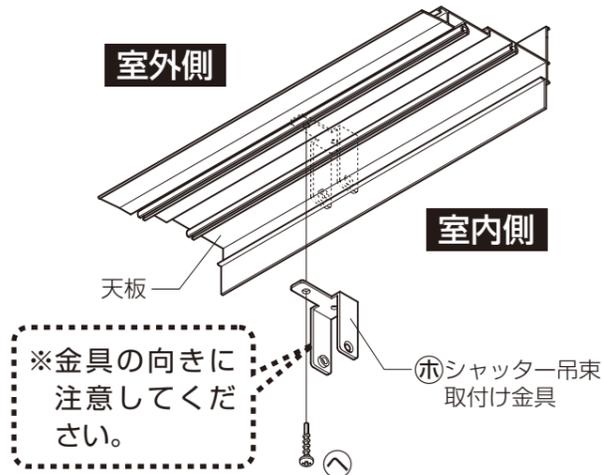


■組立て詳細

1 天板とシャッター吊束の組立て(シャッター連窓の場合)

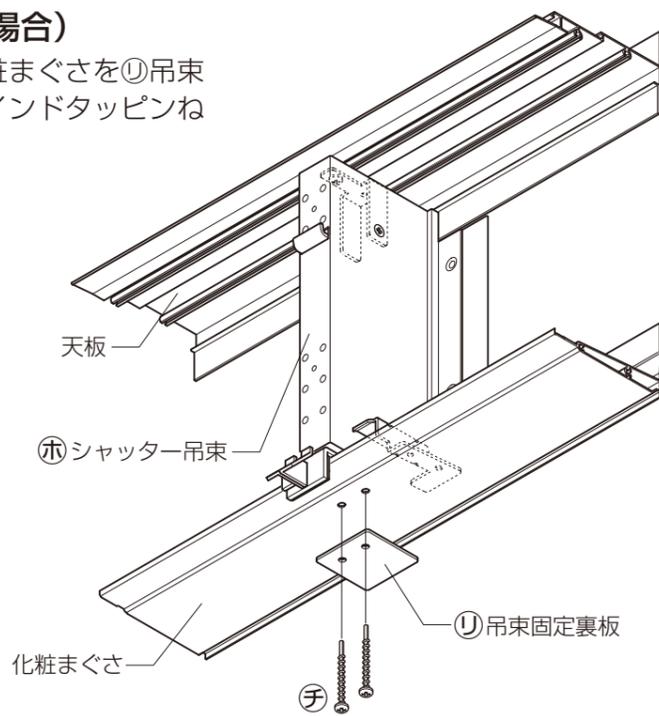
①天板に㊦シャッター吊束固定金具を
㊧バインドタッピンねじで取付けます。

②㊦シャッター吊束
に㊦シャッター吊束
固定金具を差込み、
㊨皿小ねじで
止めます。



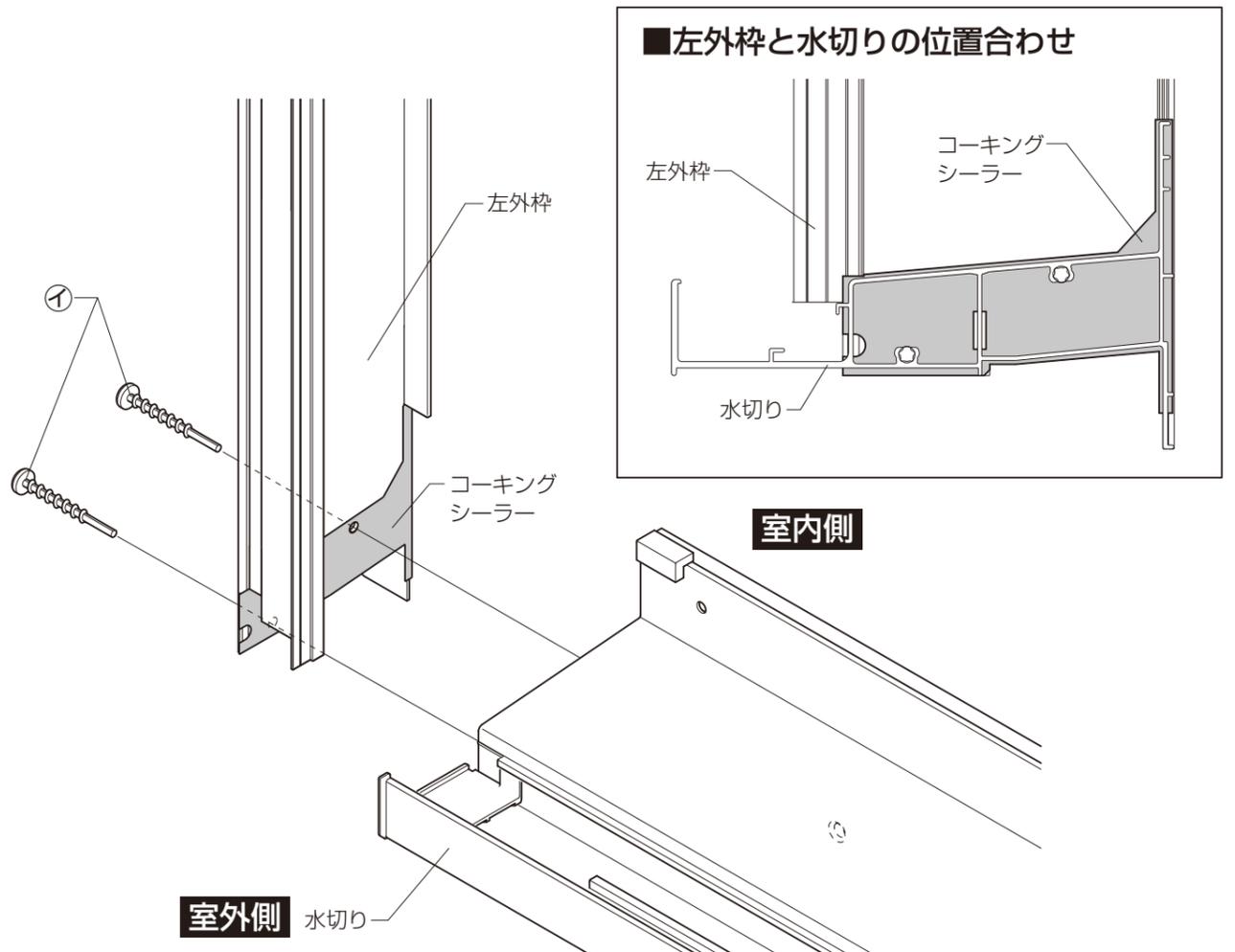
2 化粧まぐさとシャッター吊束の組立て
(シャッター連窓の場合)

●㊦シャッター吊束と化粧まぐさを㊩吊束
固定裏板を通して㊪バインドタッピンね
じで固定します。

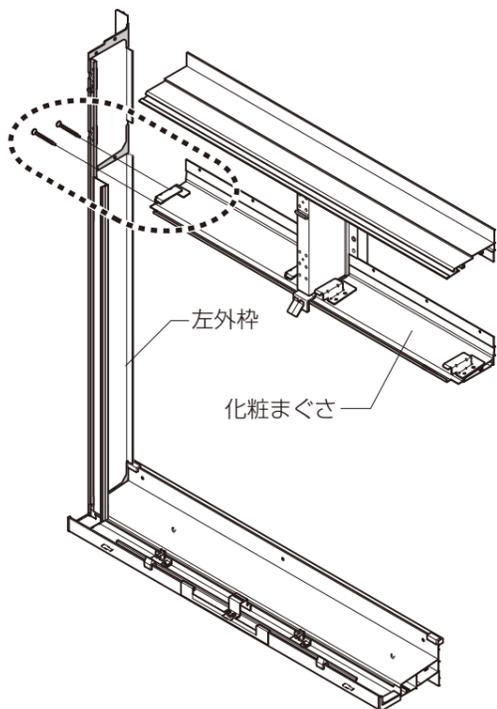


3 左外枠と水切りの組立て

●左外枠と水切りの位置を下図のように合わせて、㊫バインドタッピンねじ2本を仮止めします。再度水切りの位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。

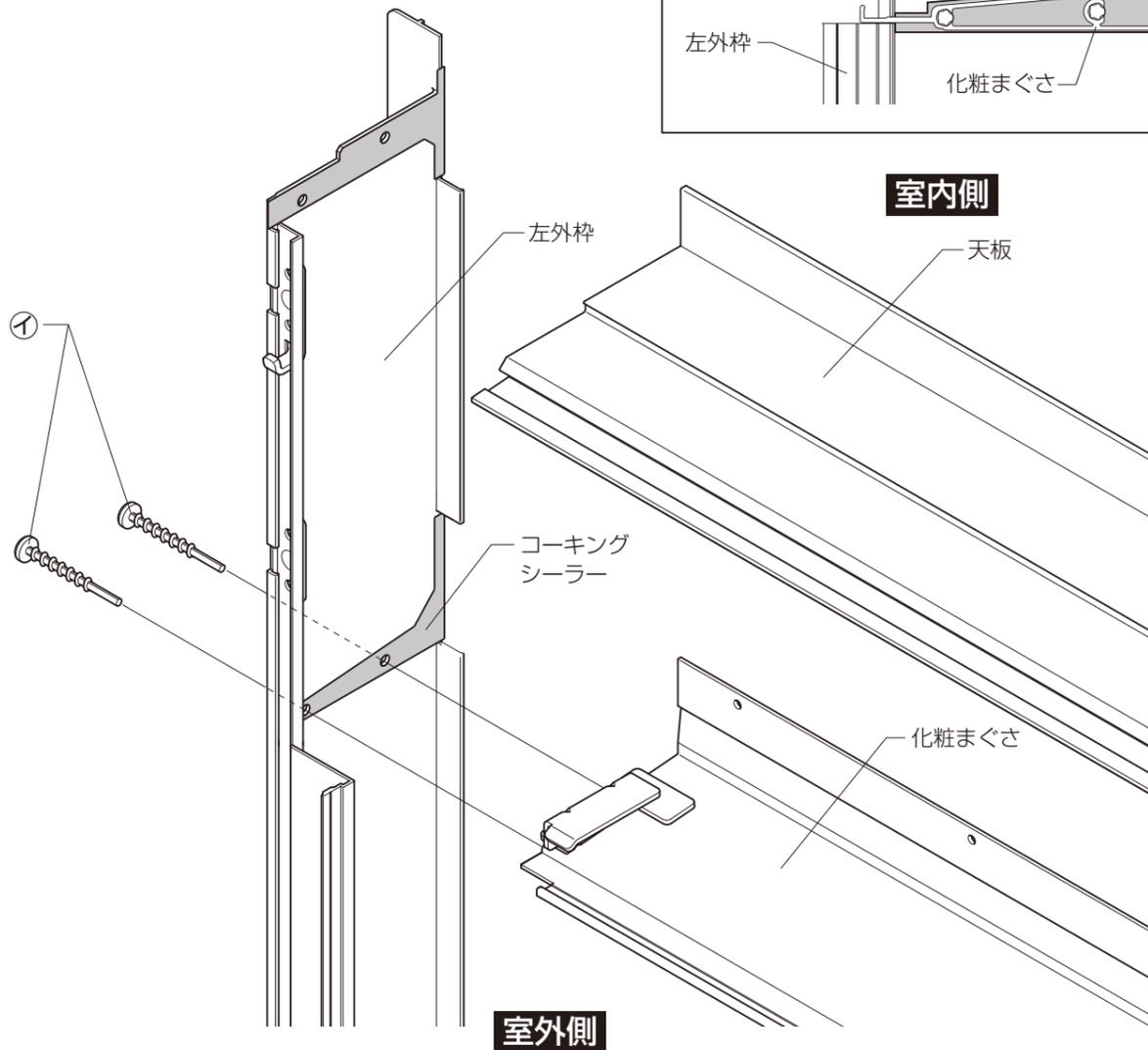
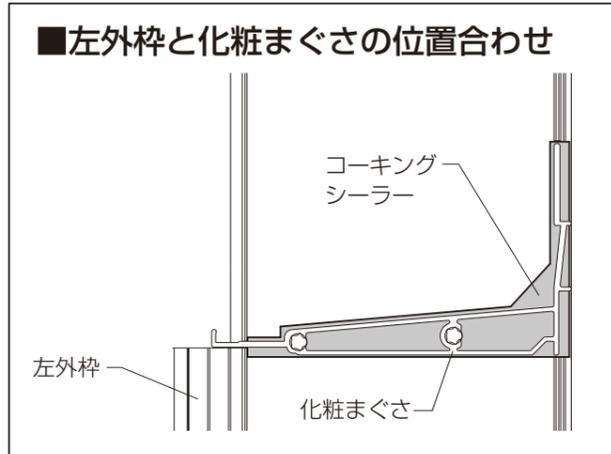


4 左外枠と化粧まぐさの組立て

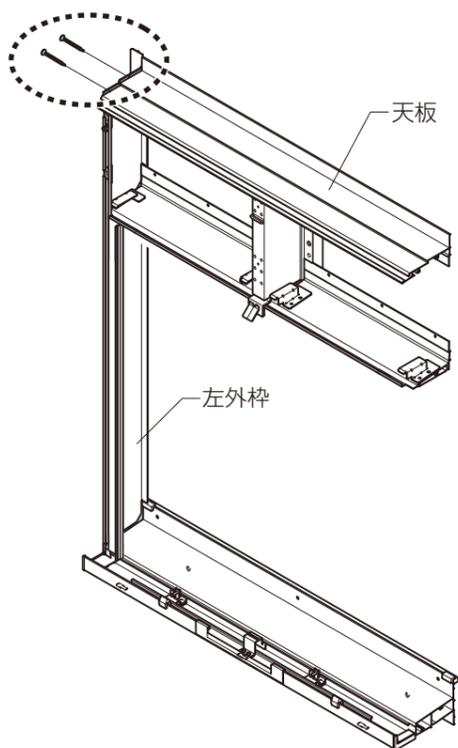


4 左外枠と化粧まぐさの組立て

●左外枠と化粧まぐさの位置を右図のように合わせて、①バインドタッピンねじ2本を仮止めします。再度化粧まぐさの位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。

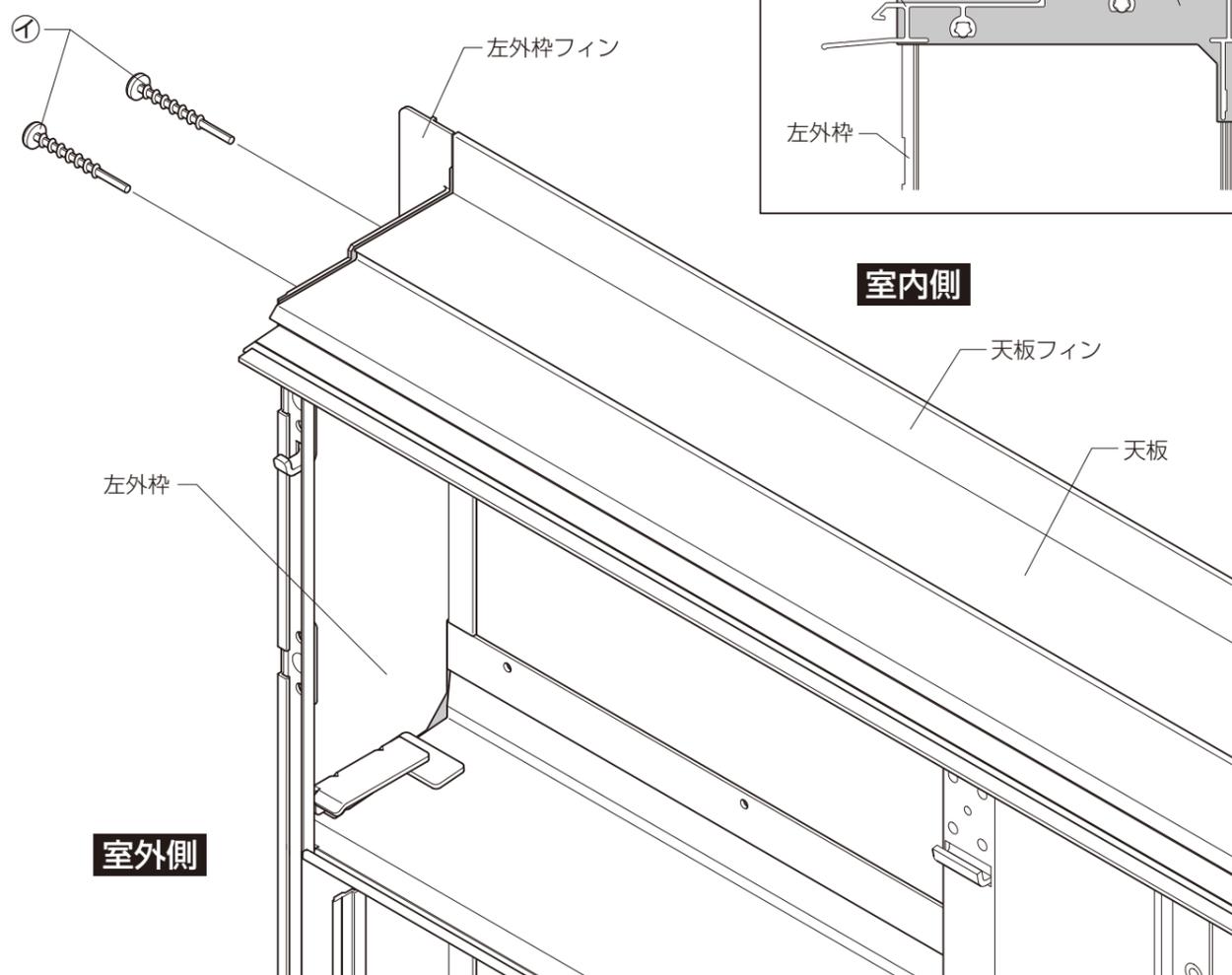
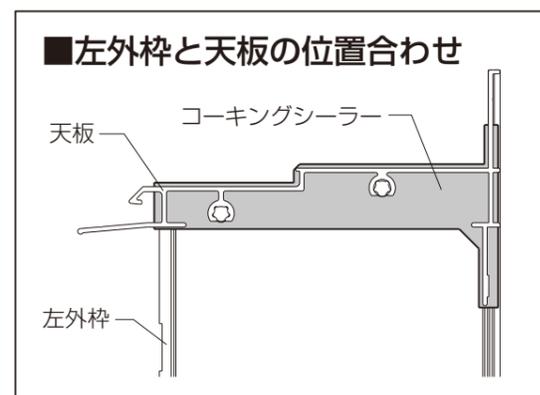


5 左外枠と天板の組立て

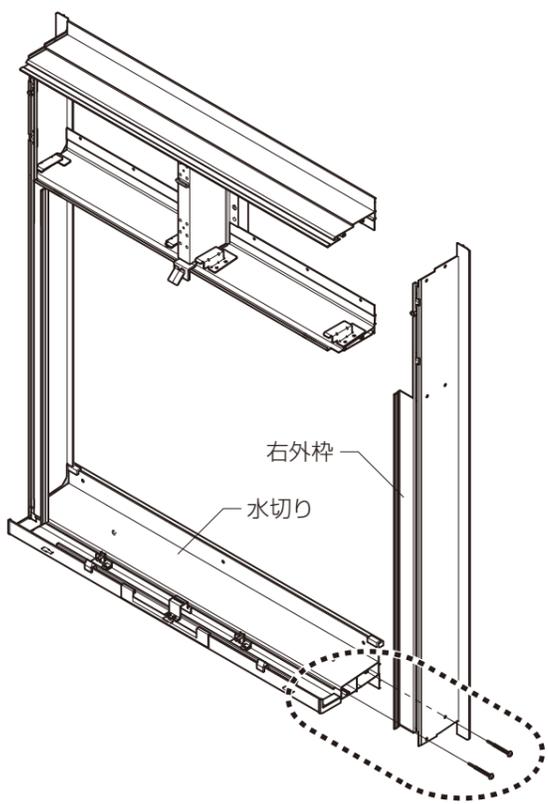


5 左外枠と天板の組立て

●左外枠と天板の位置を右図のように合わせて、①バインドタッピンねじ2本を仮止めします。再度天板の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。



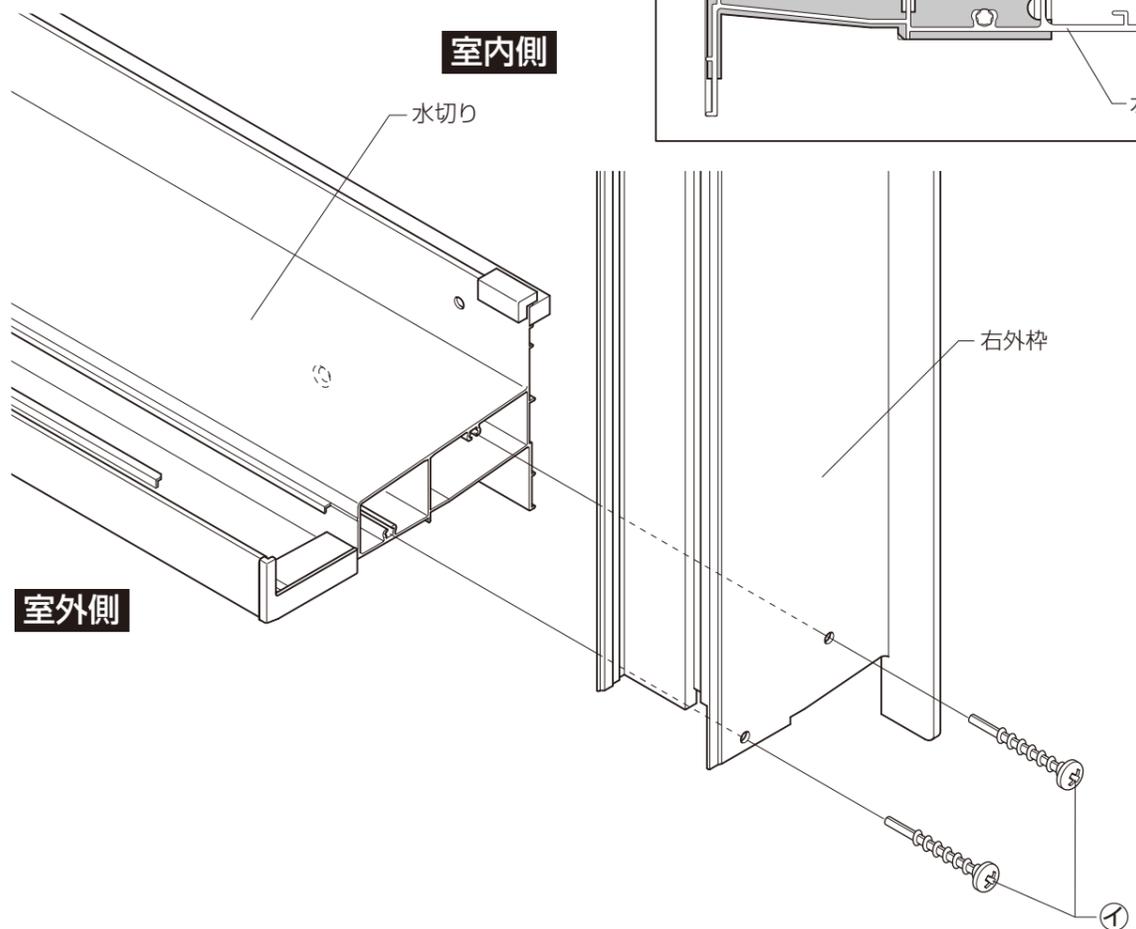
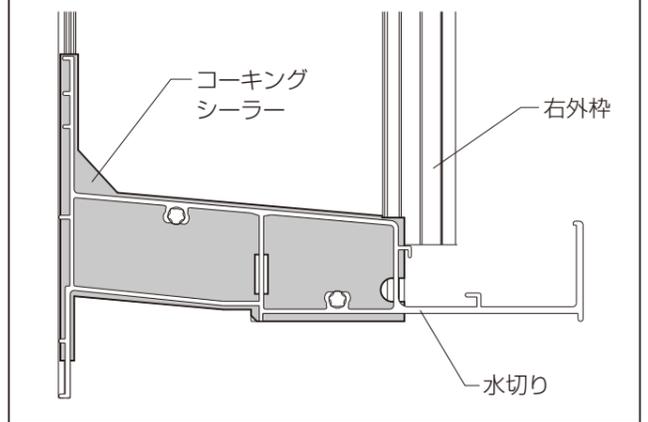
6 右外枠と水切りの組立て



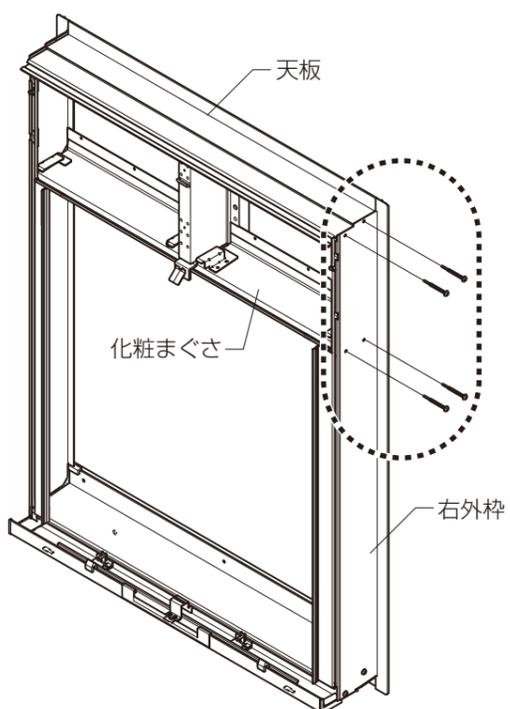
6 右外枠と水切りの組立て

- 右外枠と水切りの位置を右図のように合わせて、① バインドタッピンねじ2本を仮止めします。再度水切りの位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。

■ 右外枠と水切りの位置合わせ

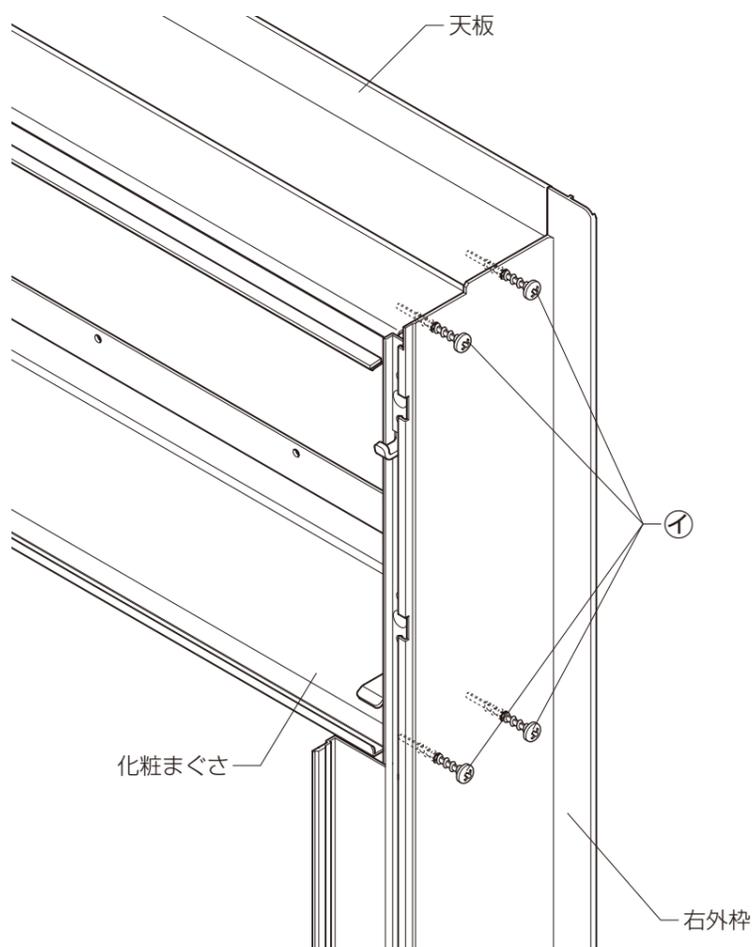


7 右外枠と化粧まぐさ・天板の仮止め



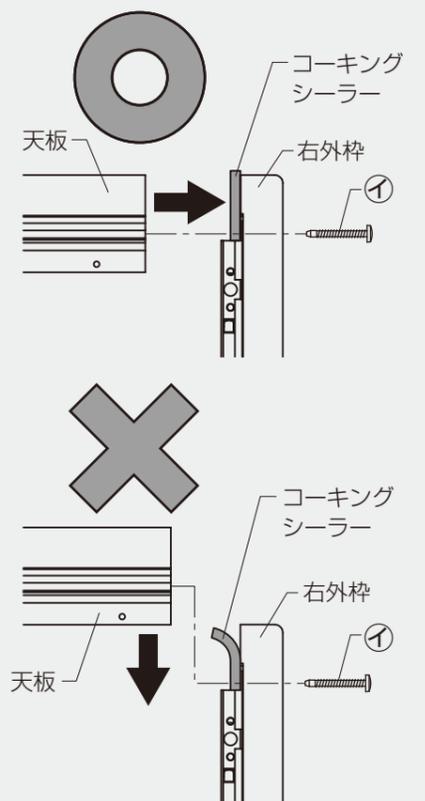
7 右外枠と化粧まぐさ・天板の仮止め

- 右外枠と化粧まぐさ・天板の位置合わせをし、① バインドタッピンねじの先端部を差込み、2～3回転ほど締めて仮止めします。

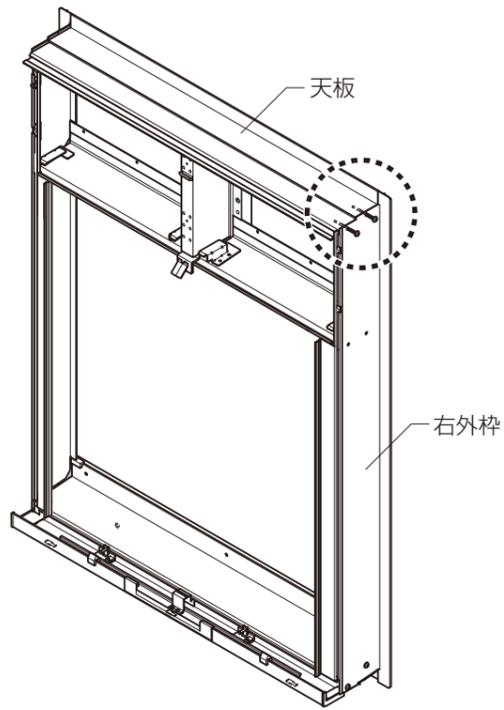


▲ 注意

- 天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい、漏水するおそれがあります。

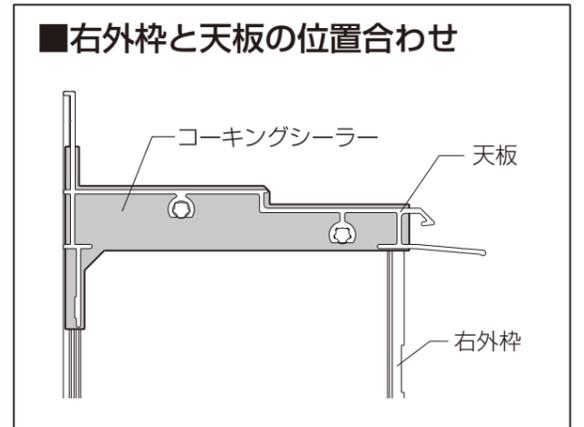
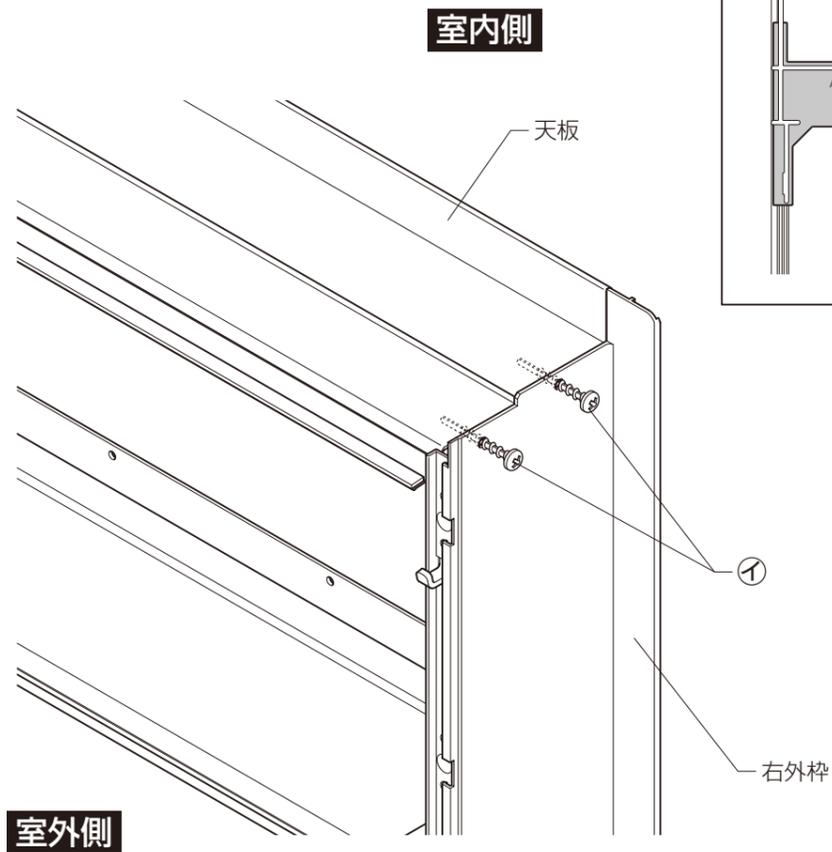


8 右外枠と天板の固定

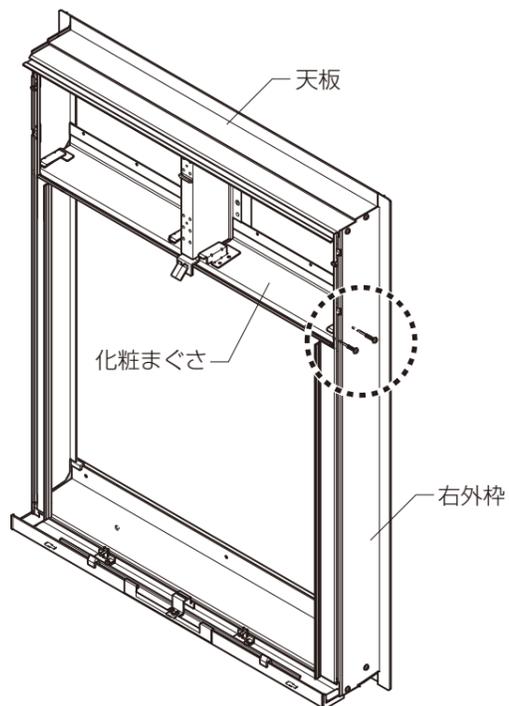


8 右外枠と天板の固定

●右外枠と天板の位置を下図のように合わせて、①バインドタッピンねじを室内側のねじから順に固定します。

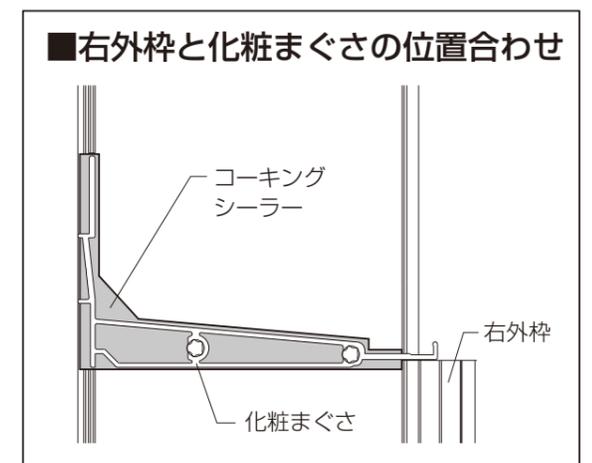
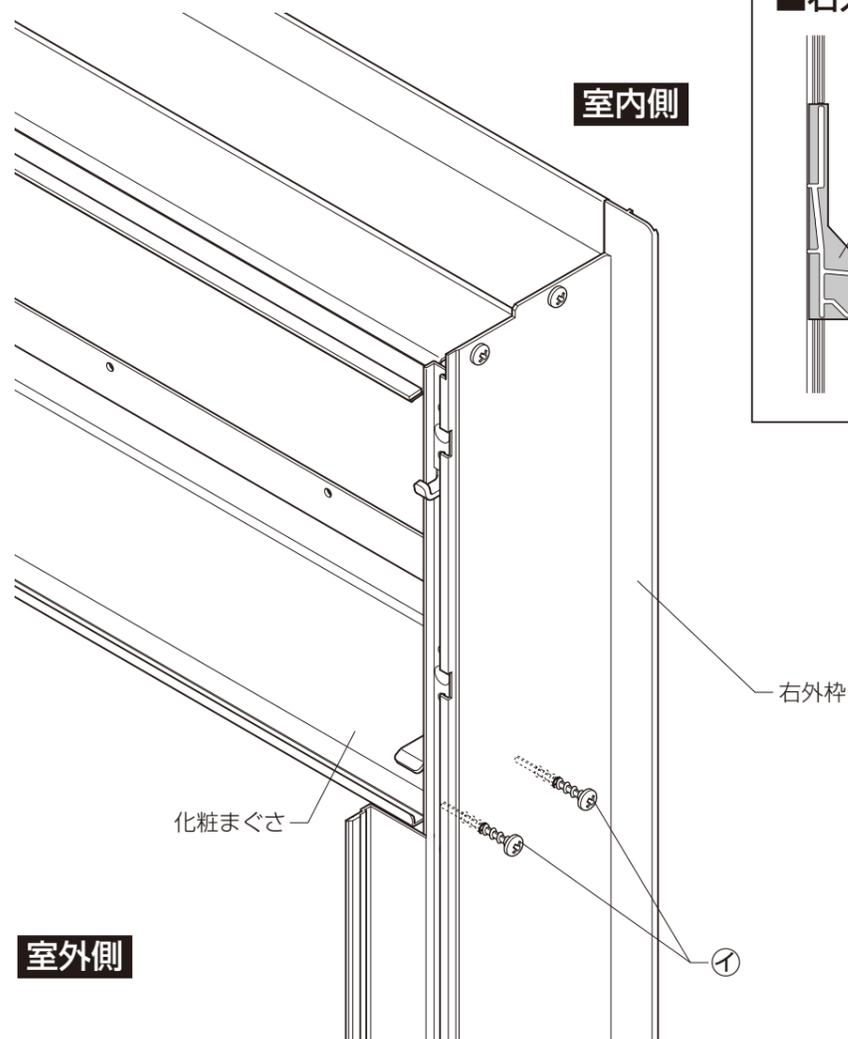


9 右外枠と化粧まぐさの固定

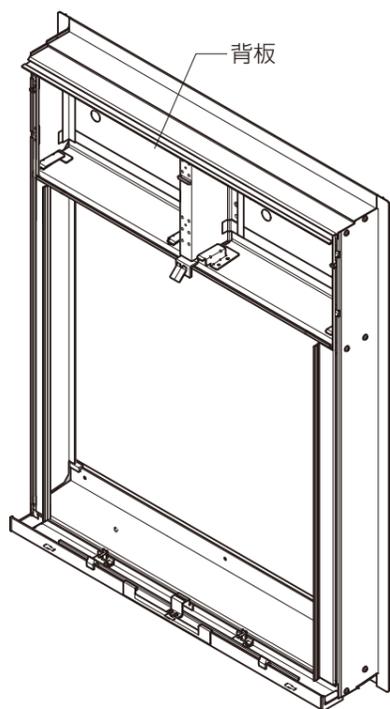


9 右外枠と化粧まぐさの固定

●右外枠と化粧まぐさの位置を下図のように合わせて、①バインドタッピンねじを室内側から順に固定します。

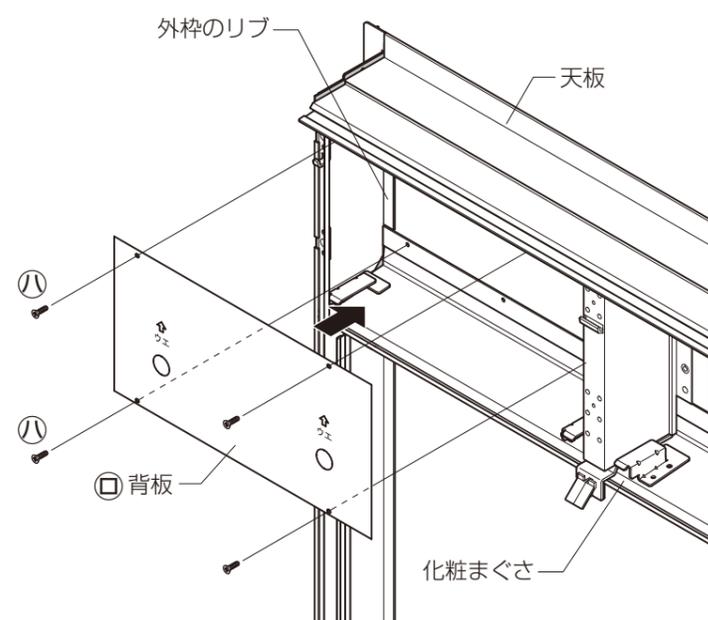
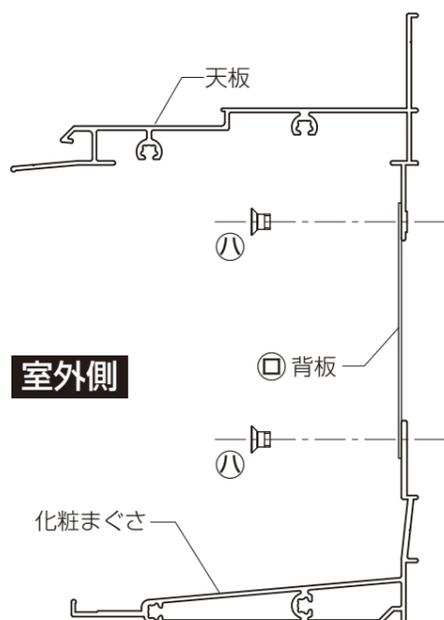


⑩背板の取付け

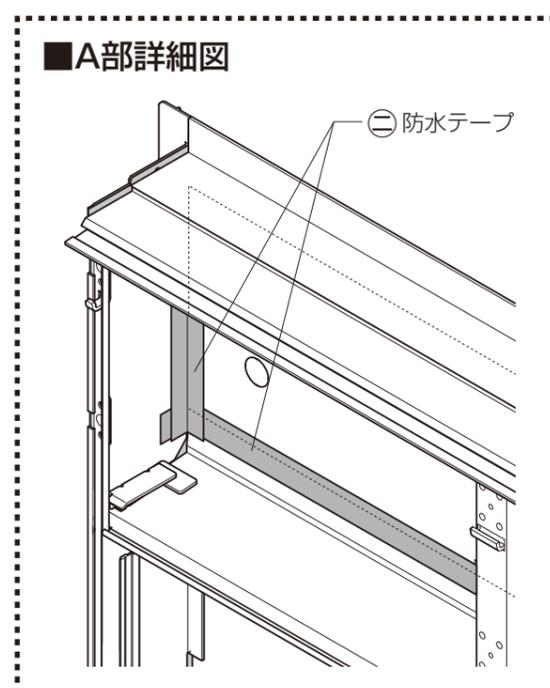
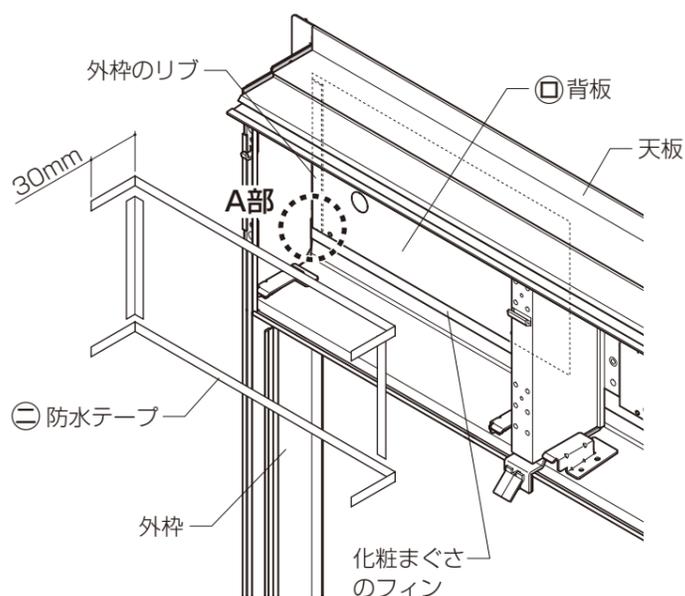


⑩背板の取付け

①㊦背板の「ウエ」の表示が室外側になるように↑の向きを上にして、天板・化粧まぐさの下穴に背板の穴を合わせて㊦皿小ねじで取付けてください。



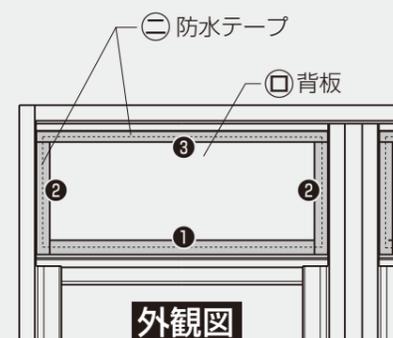
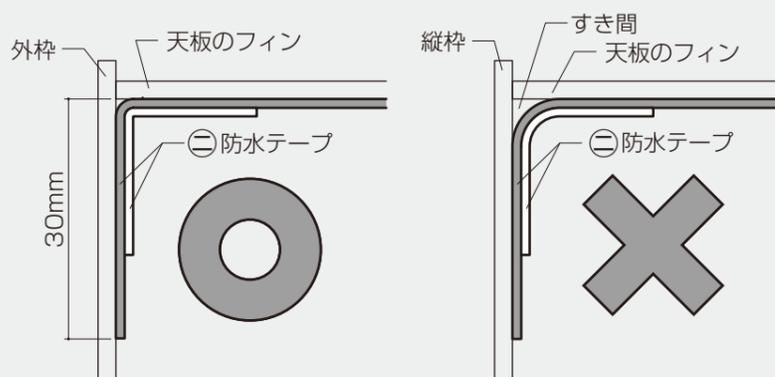
②化粧まぐさのフィン、外枠のリブ、天板のフィンに㊧防水テープを張付けてください。
 ※天板に張る㊧防水テープは、両端が外枠のリブをかぶせるようにコーナー部で30mm折曲げて張付けてください。



③㊧防水テープを圧着します。

▲注意

- 防水テープは、下記順序で背板の四周およびコーナー部に必ず圧着してください。
 ①化粧まぐさ→②外枠に折曲げて→③天板
 漏水の原因になるおそれがあります。



※コーナー部を圧着してください。

④張付け後、㊦背板、㊧防水テープに浮きがないか確認してください。